

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	昼夜を想定した火災避難訓練を行い、地域の方にも参加して頂いたが、実際に災害が起きた時の具体的な協力体制については未だ十分に確立されているとは言い難い。	実際に災害が起きた時の具体的な協力体制を確立する。	地域の自治会長、防災委員の方等との話し合いを重ね、連絡体制・避難誘導の方法・避難場所等具体的な協力体制を確立する。又、ホームとして地域に貢献できる事を考え、話しあっていく。	ヶ月
2	36	入居者の身体面の重度化、又、認知症の精神症状の進行によって職員の精神的負担も増大しており、心がけてはいるが声掛け、対応に問題がある場合もある。	どのような状況であっても、一人ひとりの人格の尊重、誇りやプライバシーを損ねない声掛け、対応が出来るように認知症ケアについての職員の理解を深めると共に、職員の精神的負担の軽減を図る。	計画的に認知症ケアについての勉強会を行い、外部研修会への参加、他ホームとの交流等に取り組んでいく。	ヶ月
3	5	今まで運営推進会議への市の担当者の参加は無く、必要事項の電話やメールによる連絡だけであり、担当者に介護の現場を見て貰う機会が無かった。	市の担当者が介護の現場を見る機会を作り、直接入居者や職員の声を聞いたり、お互いに密に連絡や相談が出来るような関係を作る。	家族様宛に送っている「さくら新聞」を送付したり、夏祭り・敬老会等の催し物、また毎月の「さくら喫茶」への参加等を案内していく。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。